



1. (上)未固結含水堆積物に貫入した玄武岩質岩脈 (5-4 Ma) の周縁部に発達する縞状構造。オシニコシン碑 (道指定の天然記念物)。

2. (下)同クローズアップ。凹凸の間隔は周縁部から内部へと大きくなる傾向があり、写真は最も大きな部分。凹凸は組成の差で生じる。凸部 53-54 %  $\text{SiO}_2$ 、凹部 51-52 %  $\text{SiO}_2$ 。

## 知床半島の海底火山活動

後藤芳彦 (北海道大学農学部)





北海道、知床半島の火山活動は、後期中新世から1 Maまでは海底で生じ、現在に見る陸上火山となったのは、1 Ma以降のことである。半島全域に亘って非常に興味深い火山現象が見られるが、ここでは海底火山活動に伴った珍しい貫入岩体について紹介する。

3. (上) 知床岬の放射状岩脈群 (2-1 Ma)、ハイアロクラスタイトのフィーダー岩脈 (凸部) 群で、200 本以上。

4. (右) 同岩脈のクローズアップ。

5. (下) 知床岬のハイアロクラスタイトに含まれるシェードピロー (2-1 Ma)、平滑な表面と蜂の巣状の節理が特徴。

